

楓月亭庭園

楓月亭は温泉寺のお堂の背後に広がるカエデの森です。この人里離れた丘の中腹を通る道の両側には約 100 本のカエデの木と 100 本のシャクナゲが植えられており、近くの活気ある温泉街とは全く対照的です。景観を彩るのは涅槃経や法華経を刻んだ石碑や手水舎などの名所です。

楓月亭のもみじは秋に赤、オレンジ、黄色に色づき、11 月に開催される毎年恒例の祭期間中はライトアップされます。一年のうち、この秋祭りの開催期間中に限り、訪問者は楓月庭を通る上り坂の道を通ってたどり着く、洗練された数寄屋造りの元温泉旅館である醫王閣に入場できます。